

**[成果情報名]無核栽培の黄緑色系ブドウ「シャインマスカット」、「瀬戸ジャイアンツ」の果実特性**

**[要約]**ブドウ「シャインマスカット」は満開後 90 日から 100 日、ブドウ「瀬戸ジャイアンツ」は満開後 100 日程度で収穫でき、皮ごと食べられる良食味な高収量品種である。ブドウ「シャインマスカット」は満開後 100 日以降に果皮に発生するかすり症が多くなる。

**[キーワード]**ブドウ、シャインマスカット、瀬戸ジャイアンツ、無核栽培、かすり症

**[担当]**長崎県農林技術開発センター・果樹研究部門・ビワ落葉果樹研究室

**[連絡先]** (代表) 0957-55-8740

**[区分]**果樹

**[分類]**指導

**[作成年度]**2013 年度

**[背景・ねらい]**

長崎県内で栽培されるブドウ栽培の主要品種は「巨峰」であるが、近年の温暖化により着色不良が発生し、需要期の出荷を十分に行えていない。そこで、着色を気にせず無核栽培が可能な黄緑色系品種を検討する。なお、黄緑色系品種は収穫時期の把握が難しいため、収穫適期の判断指標についても合わせて検討する。

**[成果の内容・特徴]**

1. ブドウ「シャインマスカット」は満開から 90 日頃に糖度 (Brix) が 19 度程度に達し、酸含量も 0.25g/100ml 程度になるため、可食期となり皮ごと食べられる (表 1、図 1)。
2. 成熟期のブドウ「シャインマスカット」は、糖度 (Brix) が 20 度と高く、酸含量は 0.2g/100ml 程度であり良食味である。また、収量も 2,000 kg/10 a 程度と高い (表 1)。
3. ブドウ「瀬戸ジャイアンツ」は満開から 100 日程度で糖度 (Brix) が 16 度程度、酸含量が 0.35g/100ml 程度の可食期となり皮ごと食べられる (表 1、図 1)。
4. ブドウ「瀬戸ジャイアンツ」の糖度 (Brix) は 16 度程度であるが、酸含量も 0.3g/100ml 程度と低いいため良食味のブドウである。また、収量も 2,500 kg/10 a 程度と高い (表 1)。
5. ブドウ「シャインマスカット」の果皮に発生するかすり症は、満開から 100 日以降に 20%以上となる (図 2)。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 調査樹は 2008 年春に定植し、H型仕立てとして短梢栽培 (新梢長 1m で管理) を行った。なお、調査樹は全て無核化処理を行い、着房過多を避けるため、全結果母枝の 80% に結実させた結果である。
2. 黄緑色系ブドウの無核化処理は、満開時にジベレリン (GA) 25ppm 溶液にホルクロルフェニユロン (F) 5ppm を加用した調整液に浸漬処理し、満開 10 日後に再度 GA25ppm 溶液にて浸漬処理を行った。なお、巨峰の無核化処理は満開 3 日後から 5 日後に GA25ppm+F10ppm 調整液で浸漬処理を行った。
3. 「シャインマスカット」は、農研機構果樹研究所が「ブドウ安芸津 21 号」(「スチューベン」×「マスカット・オブ・アレキサンドリア」) に「白南」を交雑して育成し、2006 年 3 月に登録された品種である。
4. 「シャインマスカット」は、黒とう病に罹病性であるため屋根掛け栽培を行った試験結果である。
5. 「瀬戸ジャイアンツ」は花澤ぶどう研究所が「グザルカラ」に「ネオマスカット」を 1979 年に交配した実生から選抜し、1989 年 3 月に登録された品種である。
6. 黄緑色系のブドウ品種はべと病や灰色かび病などに弱いため、品種の特徴に応じた適正な防除が必要である。

[具体的データ]

表1 黄緑色系品種の果実品質と収量性

品種	年度	果房重 (g)	着粒数 (果/房)	果粒重 (g)	着色歩合	糖度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)	食味評価	果皮可食の可否	収量 (kg/10a)
シャインマスカット <sup>z</sup>	2012	588.0	50	12.6	9.8	19.5	0.25	良	可	1,820
	2013	646.8	45	14.6	10.0	20.3	0.20	良	可	2,130
瀬戸ジャイアンツ <sup>y</sup>	2012	786.1	62	12.6	8.8	16.4	0.34	良	可	2,550
	2013	903.1	68	13.2	10.0	16.4	0.28	良	可	2,670
対照：巨峰 <sup>x</sup>	2012	482.7	35	13.5	9.2	17.7	0.54	やや良	否	1,740
	2013	474.3	34	13.4	8.1	18.6	0.51	良	否	1,710

<sup>z</sup> 満開時および満開10日後に無核化处理

<sup>y</sup> 満開時および満開10日後に無核化处理

<sup>x</sup> 満開3~5日後に無核化处理

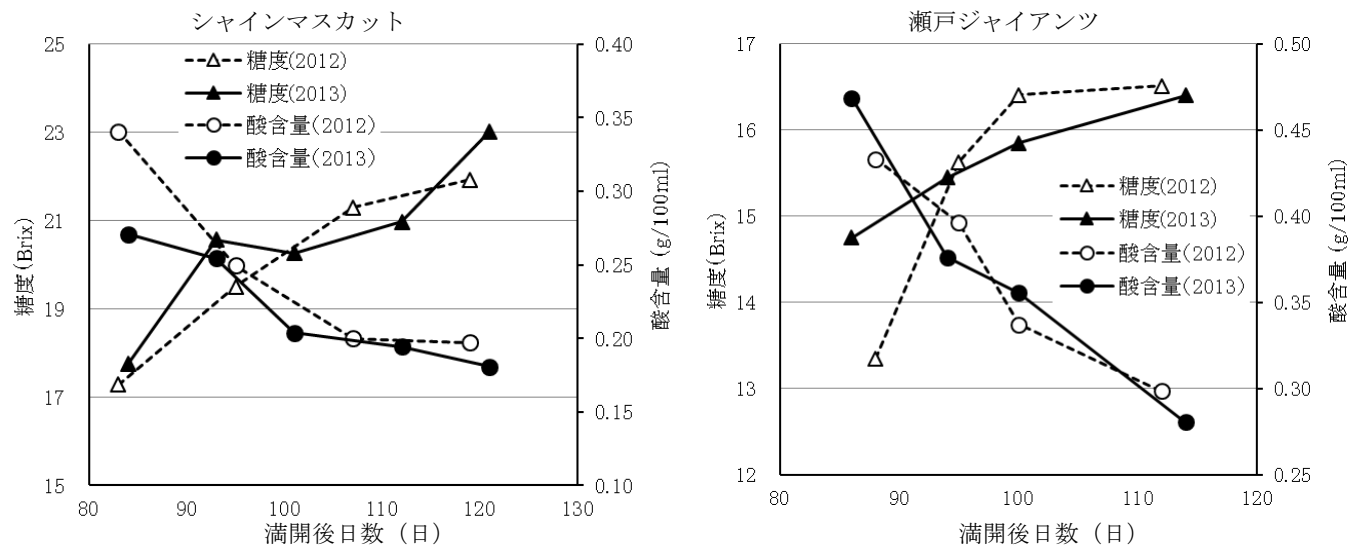


図1 満開後の経過日数と糖度および酸含量の推移

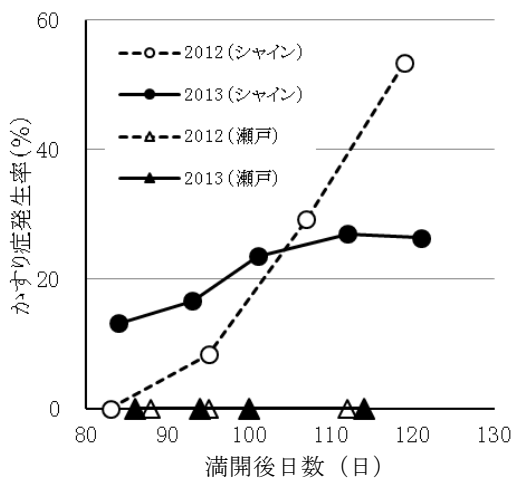


図2 かすり症発生率の推移

表2 黄緑色系品種の耕種概要

品種	年度	栽培形態	満開日	SM <sup>2</sup> 散布日	収穫日
シャインマスカット	2012	屋根掛け	5.19	5. 8	8.29-9.14
	2013	屋根掛け	5.20	5. 7	8.28-9. 6
瀬戸ジャイアンツ	2012	露地	5.26	5. 8	8.22-9.10
	2013	露地	5.27	5. 7	8.28-9.17
対照：巨峰(無核)	2012	露地	5.19	5. 8	8. 3-8.24
	2013	露地	5.20	5. 9	8. 7-8.28

<sup>z</sup> ストレプトマイシン200ppm

[その他]

研究課題名 : 特定果樹の栽培法  
 予算区分 : 県単  
 研究期間 : 継 2013 年度 (1999 年度～)  
 研究担当者 : 松浦正